



SDCプラズマ表面硬化処理がミズノ(株)殿のゴルフクラブに採用



■「ミズノ JPX E301」

軟鉄鍛造+チタンブレード装着の複合アイアン

弊社のSDCプラズマ表面硬化処理を施したチタンブレードを装着した「JPX E301」の開発では、人に伝わる「振動」「音」のデータを徹底的に解析。ボールを打った直後の振動と音を吸収しマッスルバックに近い打球感を実現することが可能になりました。

What's SDCプラズマ表面硬化処理？

-Plasma Carburizing Treatment-

SDCプラズマ表面硬化処理装置



■内容 日・米特許取得

真空炉にてプラズマ放電を利用し炭素イオンを金属材料表面に衝突・拡散させることにより、炭化物を形成させ、表面硬度を向上させます。

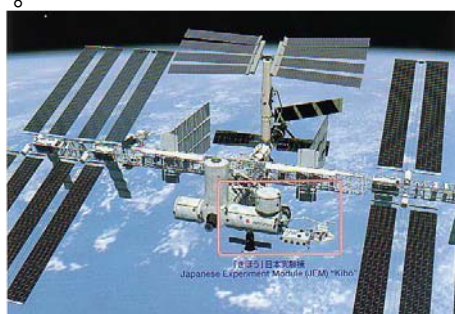
■メリット

1. 純チタン・チタン合金の耐磨耗性が向上します。
2. ステンレス鋼の耐食性を劣化させず耐磨耗性が向上します。クリーンなねじの焼付防止も出来ます。

SDCプラズマ表面硬化処理の具体的使用例

-For Example-

この技術の出発は、弊社ボルトメーカーでもあることから航空機用ネジへの応用として開発された経緯があります。現在ではチタン合金ねじで米国ボーイング社との直接交流の末、技術面クリアまで達成されました。他には装飾品でのキズ対策としてのチタン製腕時計、ネジ部品のカサリ・焼付き防止では国際宇宙ステーションのアクムレータ部品・ソーダ電解槽部品、磨耗対策ではポンプのインペラーや自動車及び自動二輪部品、ゴルフクラブなどに使用されております。



国際宇宙ステーション (ISS)



セイコー社製腕時計



ステンレス製ねじ部品



ミズノ社製ゴルフクラブ

宇宙ステーション等のハイテク機器から、民生品のゴルフクラブまであらゆる業界の様々な分野にて、幅広くご利用頂いております。